

仮設住宅入居者応援グッズ寄贈プロジェクト始動

－市内産業団体と協力して能登半島地震の被災地を支援します－

燕市では、市内産業団体と連携し令和 6 年能登半島地震の被災地支援として「能登半島地震仮設住宅入居者応援グッズ寄贈プロジェクト」をスタートさせ、市内産業団体の会員・組合員企業から無償で寄せられた家庭用厨房用品のセットを、仮設住宅へ入居する皆さんへお届けします。これまで、中越地震や中越沖地震、東日本大震災の際にも、厨房用品等を被災地へ届けてきました。本プロジェクトにより、被災された方の避難生活を支援します。第 1 弾として、仮設住宅が完成し 2 月から入居が始まる珠洲市と輪島市へ向けた 58 セットの梱包作業を、1 月 30 日につばめ物流センターで行います。梱包された寄贈品は、1 月 31 日以降に順次石川県内へ届けます。

【能登半島地震仮設住宅入居者応援グッズ寄贈プロジェクト】の概要

1. 配送開始：1 月 31 日（水）午後 1 時 30 分予定 ※以降石川県と調整し順次配送
2. 配送先：石川県内の各市町村
3. 梱包作業：つばめ物流センター（燕市物流センター1-15）1 階
1 月 29 日（月）～31 日（水）…会員・組合員企業の寄附用品受付。
1 月 30 日（火）…午後 1 時から産業団体や市職員により梱包作業。
1 月 31 日（水）…午後 1 時 30 分、運送トラックに積み込み出発
※段ボールは、会員・組合員企業から寄贈されたものを使用。
※受入可能となった輪島市から順次発送していきます。
4. セット内容：鍋、フライパン、ケトル、おたま、ターナー、ボール、ザル、包丁、まな板、スプーン、フォーク、箸、皿、お椀、汁椀、雑巾(16 種類 38 品)
5. 数量：上記を 500 セット程度（予定）
※数量は寄贈の状況および石川県との調整により決定。
6. 事業主体：燕商工会議所、吉田商工会、分水商工会、日本金属洋食器工業組合、日本金属ハウスウェア工業組合、協同組つつばめ物流センター、燕市



▲東日本大震災時の寄贈用品

【参考】石川県下の仮設住宅建設着手数（1 月 23 日現在）

輪島市、珠洲市で 166 戸、能登町・穴水町で 81 戸、七尾市 30 戸 計 277 戸
その他、志賀町、内灘町も建設予定。

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：楡井
電話：0256-77-8231（直通）